

令和2年度 教育研究業績書

氏名 植野 浩三

最終学歴	1978年3月 奈良大学文学部史学科 卒業	
取得学位	文学士	
所属学会	日本考古学協会、日本文化財科学会、考古学研究会、日本エコミュージアム研究会、日本ミュージアムマネージメント学会、全日本博物館学会、遺跡学会	
専門分野	日本考古学、博物館学	
研究課題	古墳時代手工業生産の展開、韓国窯業史の調査、歴史(遺跡)博物館の動向	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎演習 I ・文化財学研究法 I ・文化財演習 II ・考古学演習 I～IV ・文化財博物館学演習 I～IV ・考古学特殊講義 ・博物館概論 ・博物館資料保存論 ・博物館実習 I ・卒業論文
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財学講読 I ・博物館概論 ・博物館実習 ・卒業論文
【研究上の特記事項】	令和2年度は、前年度に引き続き日韓の窯業遺跡について調査、資料収集を行った。韓国の窯跡資料の調査を行った。国内においては初期須恵器や韓式土器の調査を実施し、博物館研究は実地調査を行った。その一部は論文にまとめた。	
【教育上の特記事項】	各授業では、現地見学の重要性を説いた。コロナ禍のため、演習での見学は1回となった。	
【社会的活動】	日本文化財科学会評議委員、兵庫県丹波市文化財保護審議会委員・丹波市歴史民俗資料館運営委員会委員	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	文学部学生指導委員会委員、考古学研究会・剣道部・バトミントンサークル・ボーリングサークル顧問	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
(学術論文)				
①陶邑窯・TK216型式の覚書	単著	2020年12月	『柳本照男さん古稀記念論集－忘年之交の考古学－』	陶邑古窯址群TK216号窯跡の資料は、須恵器生産の須恵器編年の貴重な資料であり、定型化を考える上で重要な位置を占めている。しかしその内容は十分に理解されていないため、その内容を整理・検討し、定型化直前の画期として位置づけた。
②				
③				
(学会発表)				
①				
②				
③				
(その他)				
①奈良大学40年間をふり返って		2021年3月	『文化財学報』第39集 奈良大学文学部文化財学科	41年間勤務した奈良大学を振り返り、大学入学から文化財学科への赴任、文化財学科での教育研究活動を整理した(附:経歴、著作目録)。
②昨今の学生気質－40年間の勤務を振り返って		2021年3月	奈良大学学生相談室 年報 2020	学生気質という側面から、41年間勤務した奈良大学での移り変わりを記述した。
③				